



大阪の元気!ものづくり企業



大阪府知的財産部門賞

「大阪ものづくり優良企業賞 2023」受賞企業への 豊田政男審査委員長メッセージ

『大阪ものづくり優良企業賞』は、大阪の中小企業にとって評価を受けることが企業価値を高めて事業の励みとなることにつながるよう、本顕彰事業の審査を担い、今回で15回目を迎えることができました。

今回の募集では、審査の結果、「優良企業賞」48社、「知的財産部門賞」4社を選定しました。

また、書面審査で評価の高かった企業を対象に、企業訪問とプレゼンテーション審査を行い、「最優秀企業賞」1社、「技術力部門賞」1社、「審査委員特別賞」3社及び「夢・未来・ORIST賞（(地独)大阪産業技術研究所理事長賞）」1社を選定しました。

今回の最終審査には、プラスチック製品製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、金属製品製造業など様々な業種の企業が候補としてノミネートされましたが、最終的に審査委員全員の合意により、加工の難しいスーパーエンジニアリングプラスチックの加工を得意とする高い技術力や、長年の豊富な実績と付加価値の高いものづくりで自社の強みを生かす経営が高く評価された1社を「最優秀企業賞」としました。

また、「最優秀企業賞」と甲乙つけがたい4社のうち、特に技術力が高い1社を「技術力部門賞」、今後の発展が期待される3社を「審査委員特別賞」に選定しました。

これらの企業は、意欲的な設備投資を図り、電子機器に欠かせないプリント基板を短納期かつ高品質で製造する企業、プラスチック製品のOEMやトレーディングカード関連のサプライ商品などの自社製品を手掛け、市場のニーズに柔軟かつ機敏に対応する企業、ねじやボルト製品を二輪メーカーに供給し、ものづくり現場の「見える化」を推し進めて、多様な人材が能力を発揮できる職場づくりを行う企業、更にはインサート成形で大手メーカーの炊飯器操作部分のデザインパネルを製造している企業です。

技術に未来を感じる企業を賞する「夢・未来・ORIST賞」には、電気めっきを行う事業で73年の事業実績を有し、顧客ニーズにきめ細やかに対応して、多品種小ロットの生産を可能とした結果、金・銀・銅、ニッケル、亜鉛、すず等13種類の表面処理を行い、11種類ものバリエーションのあるカラーめっきなど他社の追随を許さないオンリーワンの技術をもつ企業1社を選定しました。

今回の審査を通じて、エネルギー・原材料価格の長引く高騰や人材不足等の影響を受けてものづくり企業を取り巻く環境は厳しい状態が続いている中、これまでの経験で培った技術の応用や創意工夫により新しい展開に挑む大阪ものづくり中小企業の姿勢を見て、「大阪のものづくり」の卓越した技術力と新たな展望を切り開く力強い姿を感じることができました。

15回目を迎えた当顕彰事業の受賞企業数は948社となり、毎年多くの企業が選定されていることは、大阪府内に優秀で意欲の高い中小企業が潜在的に存在し活躍していることの証でもあり、本賞の審査の意義を改めて感じることができました。

新たに受賞した企業48社には、「大阪のものづくり看板企業（匠企業）」として、ますます発展することを確信するとともに、我が国のものづくりの牽引役として、その持てる技術力や企業力をより一層発揮され、更なる活躍を期待しつつ、今回受賞された各企業の皆さまに心より祝意と敬意を表します。

大阪中小企業顕彰事業審査委員会 審査委員長 豊田 政男
(大阪大学名誉教授)